

吉田緑こども園

理事長 長谷川智子

「暑くないうちに」「コロナにかからない様に」…酷暑やコロナと戦いながら運動会をめざして精一杯頑張っています。

子どもは本気で楽しく活動しています。それを見るバアバも元気を貰います。

私の好きな、相田みつをさんの言葉です。

あれはダメ、こうなさい等、親の思い通りにさせ、出来た時だけ褒められる。そんな子どもの育ちは、成人して親に暴力を振るったりする事件を呼び起こします。

こんな記事を見ると、どうしようもない悲しみが沸き起こります。小さい時から子どもを認めてやる事がすくなかったのでしょうか？

「そのままでもいいがな」これって子どもへの最高の愛情の表現だと思います。

バアバちゃんが小さい頃、家のばあちゃんに「うんうん、いいよ！」と慰められた事を思い出します。上手に出来ることだけがいい事ではないのです。

こういう愛情が与えられていれば子どもは必ず生まれ持つものを豊かに開花する
【佐々木正美(精神科医)】

できなくていいんです。いつかできるようになれば…。

バアバの小さい頃は、集団の中へ入れられるのは6歳になってからです。(小学一年)それまでは近所の同じ年の子ども、兄ちゃん、姉ちゃん、色々な人と関わり、楽しく又時には兄ちゃん姉ちゃんと同じことができなくて泣いたりしたものです。

周りの大人は、みんな先生です。危ない事があれば「こらーっ！」の怒鳴り声。本気で走って逃げました。

こんな体験が学校という集団にすぐに馴染めたのだと思います。言葉が少し遅くても、こだわりが強く変わり者であっても障害児と言われませんでした。



買い過ぎない

買い物前に家にある食材をチェックして、使う量だけを買きましょう。



作り過ぎない

家族の体調や予定も考えて、食べきれぬ量を作ります。



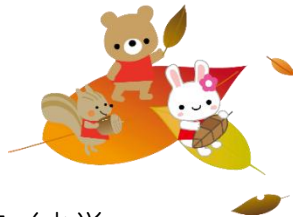
食事を残さない

食事は、ごはん粒ひとつまで、すべて食べきるように心がけます。

子どもが「残さず食べられた」と思える工夫を

子どもの食欲がない時は、食器に普段の半分くらいの量を盛り付け、食べたらおかわりをするようにすると、子どもが「残さず食べられた」という意識を持つことができます。

また食事の時に空腹になるように、間食をとり過ぎないようにして、食事の前にジュースなどの飲み物は控えるようにしてください。



ごちそうさまでした

